

【公立大学法人横浜市立大学平成22年度年度計画概要図】

中期目標・中期計画期間（17～22年度）

17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
------	------	------	------	------	------

平成22年5月7日
横浜市立大学法人評価委員会
資料5

【中期目標】・横浜市立大学が市が有する意義ある大学として、市民が誇りうる、市民に貢献する大学となること。実践的な国際教養大学となること。

●第1期中期計画の最終年度として、計画の達成を目指します。
●第1期中期計画から継続する課題と第2期中期計画の方向性を明確にし、第2期中期計画の策定を進めます。

教育重視

学生中心

地域貢献

教育

教学共通

- ★FDの充実による教員の教育能力の開発
- ★授業評価アンケート等の実施による学生の意見の聴取
- ★本学の教育理念に基づいた入学者選抜方式の見直し
- ★学部・研究科と連携した入試広報の充実

学生の声を学生支援向上の取組に反映

- ★学部・大学院におけるキャリア支援の充実
- ★キャンパス間の連携・情報交換等を通じた保健管理センター機能の強化
- ★学術資料の充実
- ★経済状況の悪化に伴う授業料減免対象者の増加に対応した支援の実施

国際総合科学部および医学部における教育の質保証

- 【共通教養教育】
 - ★Advanced Practical Englishの授業内容の充実・拡充
 - ★コース見直し等に対応した共通教養科目の見直し・改善
- 【国際総合科学部】
 - ★コース再編の方向性に沿ったカリキュラム・履修モデルの見直し
- 【医学部(医学科・看護学科)】
 - ★定員増に伴う施設・設備の整備及び教育の質の保証
 - ★看護学科定員増に伴う教育の質の保証

大学院の円滑な運営と課題の改善

- 【生命ナノシステム科学・都市社会文化・国際マネジメント研究科】
 - ★再編1年目の振り返りとそれによって明らかとなった課題の改善
- 【医学研究科】
 - ★1専攻となった博士課程の円滑な運用
 - ★修士課程におけるカリキュラムの実質化
 - ★高度実践看護師を育成する修士課程看護学専攻のカリキュラムの定着・円滑な運用

研究院の再編 (教育研究共通)

◎国際化 “世界に開かれた大学づくり”

国際化に関するミッション・ステートメントに沿った大学の国際化の推進

- ★国内外の大学等と推進するアカデミック・コンソーシアムの充実
- ★海外協定校との交換留学プログラム等の拡充
- ★2010年11月に横浜で開催されるAPEC首脳会議等へ学生によるボランティア参加及び関連国際シンポジウムの開催

- ★講座開講地域の偏り等、生涯学習事業の課題の明確化と改善
- ★政策課題に関する研究プロジェクトの展開
- ★市立高校を主とした協定に基づく高大連携の推進

研究成果・知的資源の地域社会への還元の一層の推進

◎地域貢献 “地域ニーズへの対応”

研究

外部研究費の継続と獲得に向けた取組の推進

- ★「科学技術振興調整費」再審査通過に向けた取組の推進
- ★先端医科学研究センターの施設建設に向けた実施設計
- ★「学長裁量事業費」の新設による学内の戦略的研究の活性化

医療

医療による地域貢献の推進

- ★救急医療体制・産科増床など、医療での地域貢献
- ★医師不足分野における医師の確保と育成
- ★地域医療連携の推進
- ★臨床研究機能の充実
- ★センター病院の電子カルテ導入準備

社会が求める人材の育成

地域医療の向上

【法人の運営】 ★効果的な採用が可能となる制度の検討 ★YCUサポート募金の充実に向けた各種取組の推進 ★卒業生・同窓会組織との連携強化

★内部監査の推進 ★情報漏洩対策に向けたITセキュリティの強化と啓発活動の推進